

新しい生活がスタートして一か月が経とうとしています。初めは新しい環境に不安や緊張、戸惑いがあった子どもたち。少しずつ慣れて、気に入った玩具で遊んだり笑顔も見せてくれるようになってきました。楽しそうにしている姿が見られてうれしく思っています。ただ、疲れが出て体調を崩してしまうこともあり、ますので、体調管理には十分気を付けていきたいと思っています。



## ～ベランダで戸外遊び～

登園後はベランダに出て戸外遊びをしています。あたたかい日が増えてきて、ベランダに出ると、気持ちよさそうにひなたぼっこをしたり、のびのびと体を動かしている子どもたち。周りの友達の様子や遊びにも興味津々で、同じ動きを真似ようとしたり、友達が遊んでいる姿を見て、遊んでみたくなったり、様々な姿が見られます。おかけっこやモビーカーに乗って前に進んでみたり、ボール投げ等も楽しんでいます。

ベランダに出る時の、靴や靴下、帽子など自分で着脱しようとしたり、自分のマークの所から持って行こうとする意欲的な姿も見られるようになってきていますよ。天気の良い日はベランダでたっぷり戸外遊びを楽しんでいきたいと思っています。



## ～もも組で大切にしていること～

○子どもが安心して過ごせる保育者の関わりを大切にしています。

食事や排泄は同じ保育者が行っています。同じ保育者が関わることで子どもとの深い信頼関係を築き、安心してこども園生活を送れるようにしています。遊びは担任全員で見守り、担任間で子どもの姿を共有しながら保育を行っています。

○わらべうたを大切にしています。

岩手県の遠野で伝承されているわらべうたで子どもたちと遊び、楽しんでいます。相手の目を見て話を聞くという人としての基本の習慣への土台や、子どもたちが人として立派に育つようにという願いが込められ、楽しい中にも生きる知恵が含まれています。

○遊びを通しての学びを大切にし、おもちゃは指先の発達や集中力、根気、豊かな感性などが育つことを願って設定しています。

握る、つまむ、ひねる等様々な動きを経験することで、ボタンをはめる、スプーンを握るといった生活の中に必要な指先の力が身に付いたり、積み木を積む等の経験を通して、集中力や達成感が育ててほしいと願っています。

○自分でやってみようとする気持ちや意欲を大切にしています。

1歳児の子どもたちは自我の芽生えと共に、遊びの意欲や、自分でしたい、やってみたい意欲も一層高まります。自分でやってみたい気持ちを受け止め、見守ったり時には手伝いながら、自分でしたい気持ちを大切にしていきたいと思っています。

一人一人を温かく受け入れ、安心して生活ができるように大切にに関わり、子どもたちの成長を保護者の方と一緒に見守っていききたいと思っています。これから一年間よろしく願いいたします。